

デジタルアーツ株式会社  
(証券コード 2326)



平成29年3月期 第1四半期  
(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

補足説明資料  
平成28年7月28日(木)

平成29年3月期 第1四半期決算補足説明資料

---

# 決算のポイント

- ① 「i-FILTER」 「m-FILTER」 等の既存製品が堅調に推移
  - 標的型攻撃による大規模な個人情報流失、セキュリティ事故の深刻化
  - 情報セキュリティ対策強化に対する意識の高まり
- ② 「FinalCode」 が引き続き急成長
  - FinalCode Ver.5 により実現する全社レベルでの高度なファイルセキュリティが大量の顧客情報を扱う企業・組織のニーズを捉える
  - 公共向けでは、公共団体が求める機能をシンプルに提供可能な「FinalCode 自治体限定版」を中心に導入が進む  
(受注額ベースで昨年度の約47倍の伸び)
- ③ 「自治体情報セキュリティ対策抜本的強化案」 への対応
  - 各自治体でサイバーセキュリティ強化関連予算が設定されており、各市区町村・各都道府県においてセキュリティ強化に向けた動きが活発化
  - 当該強化案の要求に対応するソリューションの提案に注力し、具体的な案件の獲得が進む

平成29年3月期 第1四半期決算補足説明資料

---

# 連結決算ハイライト

連結売上高

売上高： **916** 百万円 (前期比 +113百万円 / +14.1%)

主力製品であるi-FILTERが堅調に推移したことに加え、D-SPAの大規模案件獲得、国内FinalCode販売の好調により対前期大幅増収

営業利益

営業利益： **99** 百万円 (前期比 +17百万円 / +21.7%)

国内人員増、海外拠点の拡充に伴う経費増等があったものの、売上の増加で吸収し、営業利益ベースでも増益を果たす

経常利益

経常利益： **78** 百万円 (前期比 △6百万円 / △8.1%)

増益傾向なるも、急速な円高の進行に伴う為替相場変動の影響（為替差損 △20百万円）により対前期比マイナスとなる

親会社株主に帰属する  
当期純利益

当期純利益： **13** 百万円 (前期比 △43百万円 / △76.4%)

国内販売は順調なるも、海外子会社で投資が先行し、税金費用等の負担が重くなったことを主要因として対前期比マイナス（予算織り込み済み）

## 連結業績

(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	前期比	通期予想
売上高	803	916	+14.1%	4,600
売上総利益	592	676	+14.2%	3,652
販売管理費	510	576	+13.0%	2,252
営業利益	81	99	+21.7%	1,400
経常利益	85	78	▲8.1%	1,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	57	13	▲76.4%	870
ROE	1.4%	0.3%	—	—

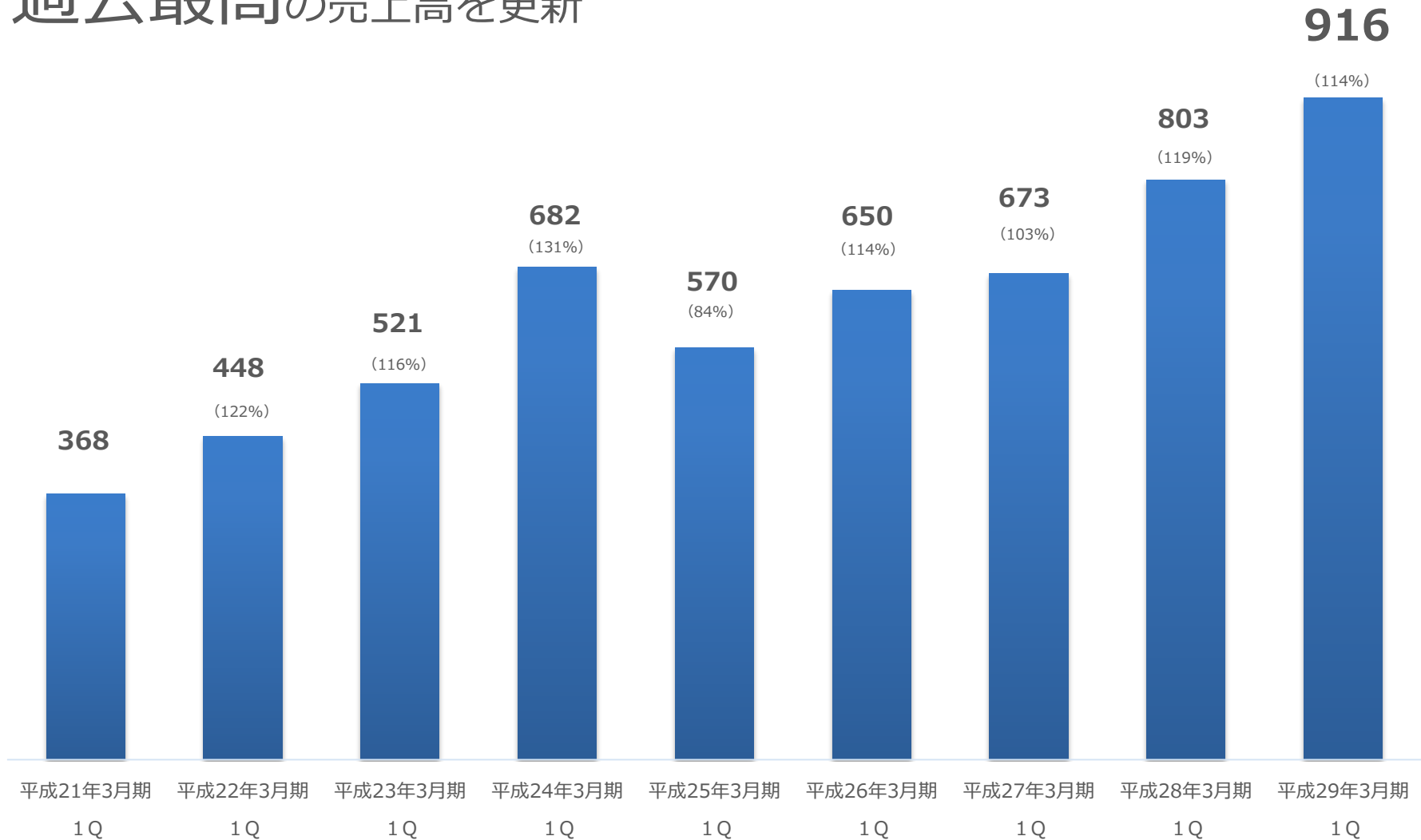
## 個別（単体）業績

(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	前期比	通期予想
売上高	802	945	+17.8%	4,598
売上総利益	617	688	+11.4%	3,555
販売管理費	450	509	+13.1%	1,843
営業利益	167	178	+6.9%	1,712
経常利益	172	161	▲6.2%	1,712
当期純利益	117	102	▲13.2%	1,182
ROE	2.7%	2.0%	—	—

# 過去最高の売上高を更新

(単位：百万円)

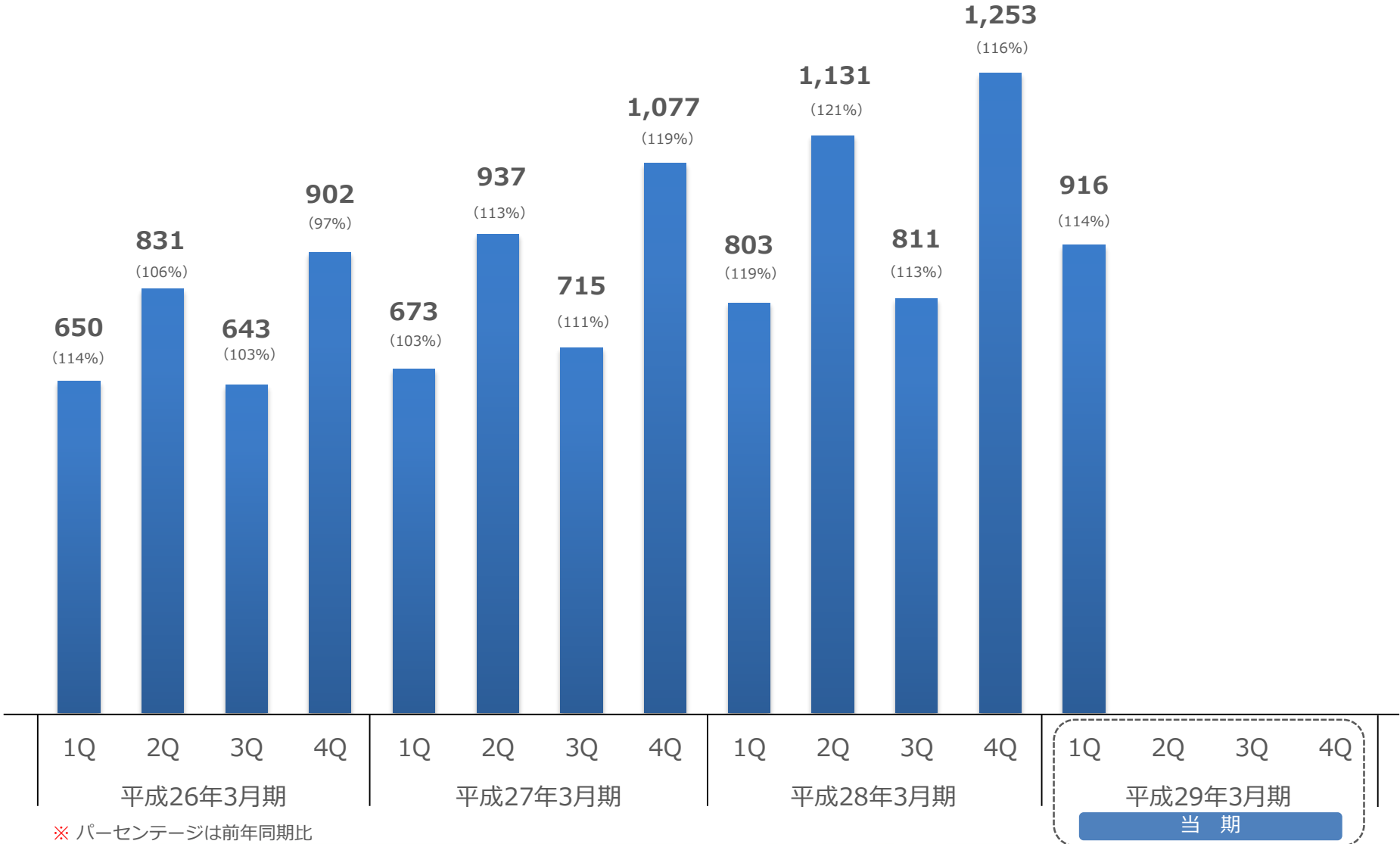


※ パーセンテージは前期比



(単位：百万円)

第1四半期については予算を上回る水準で推移



※ パーセンテージは前年同期比

- 国内人員増等の影響があり、売上原価・販管費共に微増
- 売上原価・販管費共に概ね期首予算通りの水準で推移

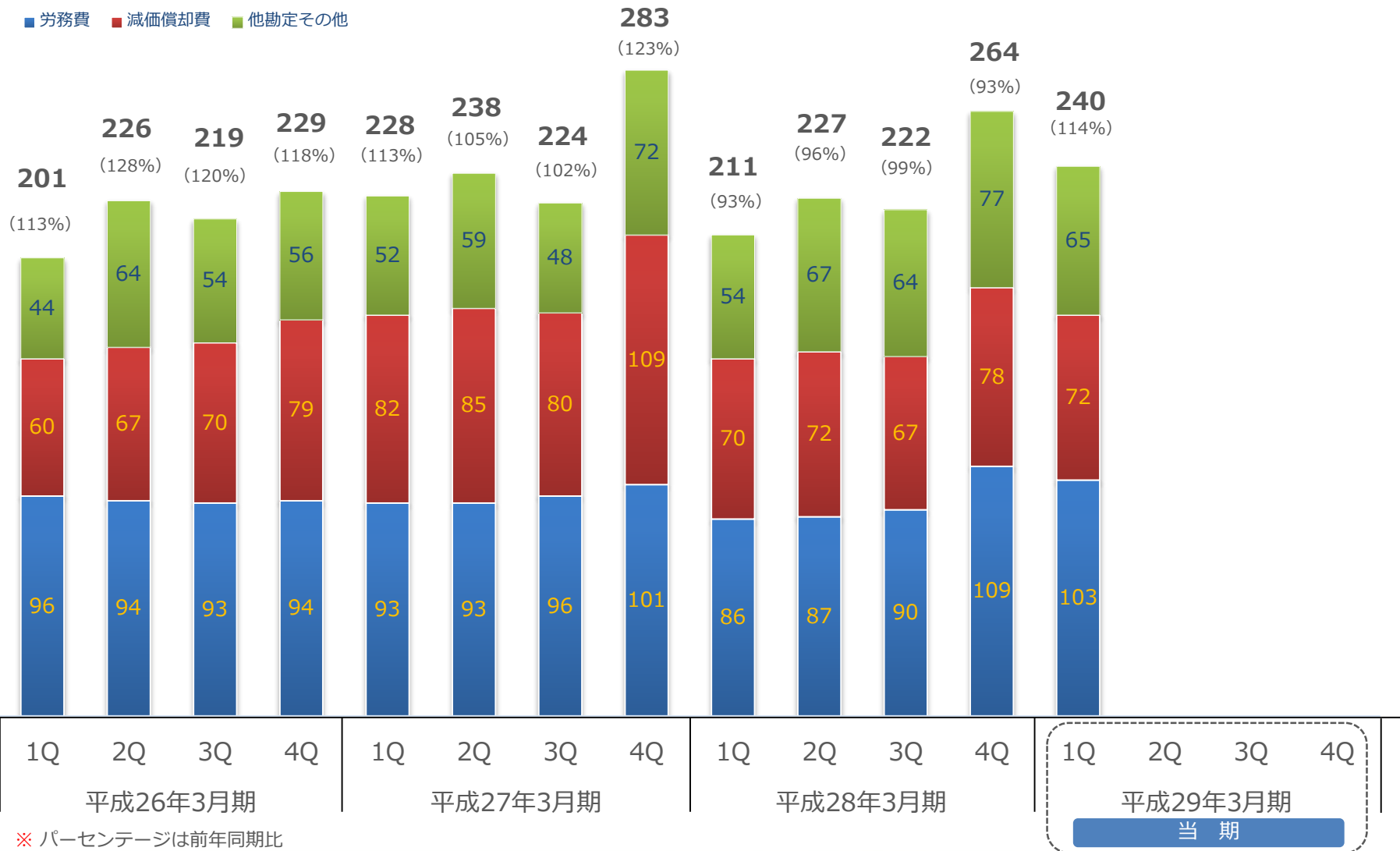
(単位：百万円)

項目	平成28年3月期 第1四半期	平成29年3月期 第1四半期	前期比	主な増減要因
<b>売上原価</b>	211	240	+29	
労務費	86	103	+16	
減価償却費	70	72	+1	
他勘定振替 その他製造原価	54	65	+11	
<b>販売費及び一般管理費</b>	510	576	+66	
人件費	250	286	+36	内、海外人件費 +14M
広告宣伝費	94	101	+7	
その他	165	188	+23	サーバーリプレイス費用 国内採用費等

(単位：百万円)

## 売上原価については各内訳項目とも著変なし

■ 労務費 ■ 減価償却費 ■ 他勘定その他

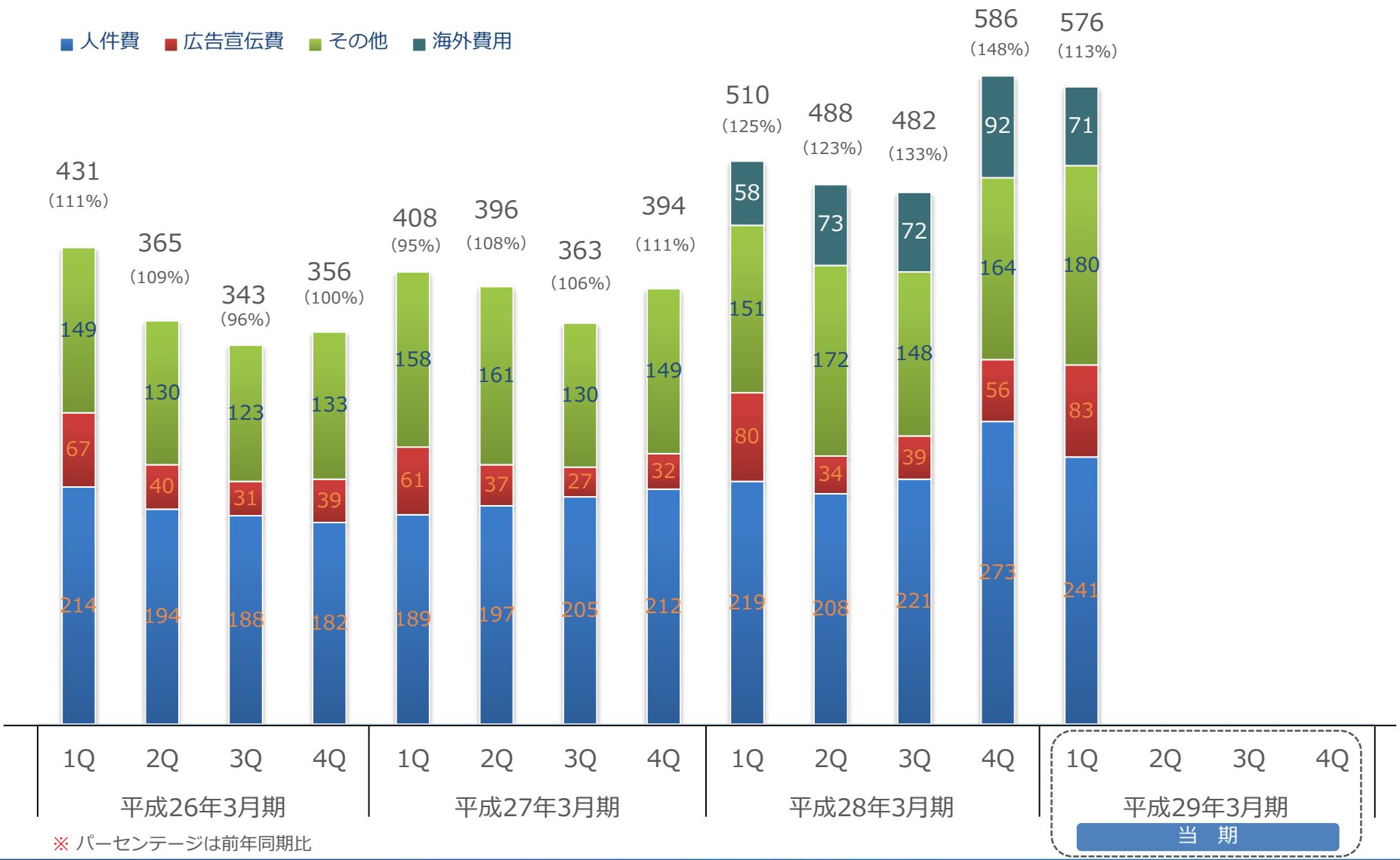


※ パーセンテージは前年同期比

## 販管費及び一般管理費は海外に対する戦略的先行投資により増加

(単位：百万円)

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ その他 ■ 海外費用



※ パーセンテージは前年同期比

平成29年3月期 第1四半期決算補足説明資料

---

## 市場別詳細

- 連結全体で +14.1% の成長
- 企業向け市場 +15.9%・公共向け市場 +15.8% と高い成長率を維持
- 家庭向け市場においては、国内のパソコン出荷台数が大幅に減少する中、底固く推移

## 連結売上高

売上高： 916 百万円 (前期比 +113百万円 / +14.1%)

## 企業向け市場

売上高： 530 百万円 (前期比 +72百万円 / +15.9%)

## 公共向け市場

売上高： 296 百万円 (前期比 +40百万円 / +15.8%)

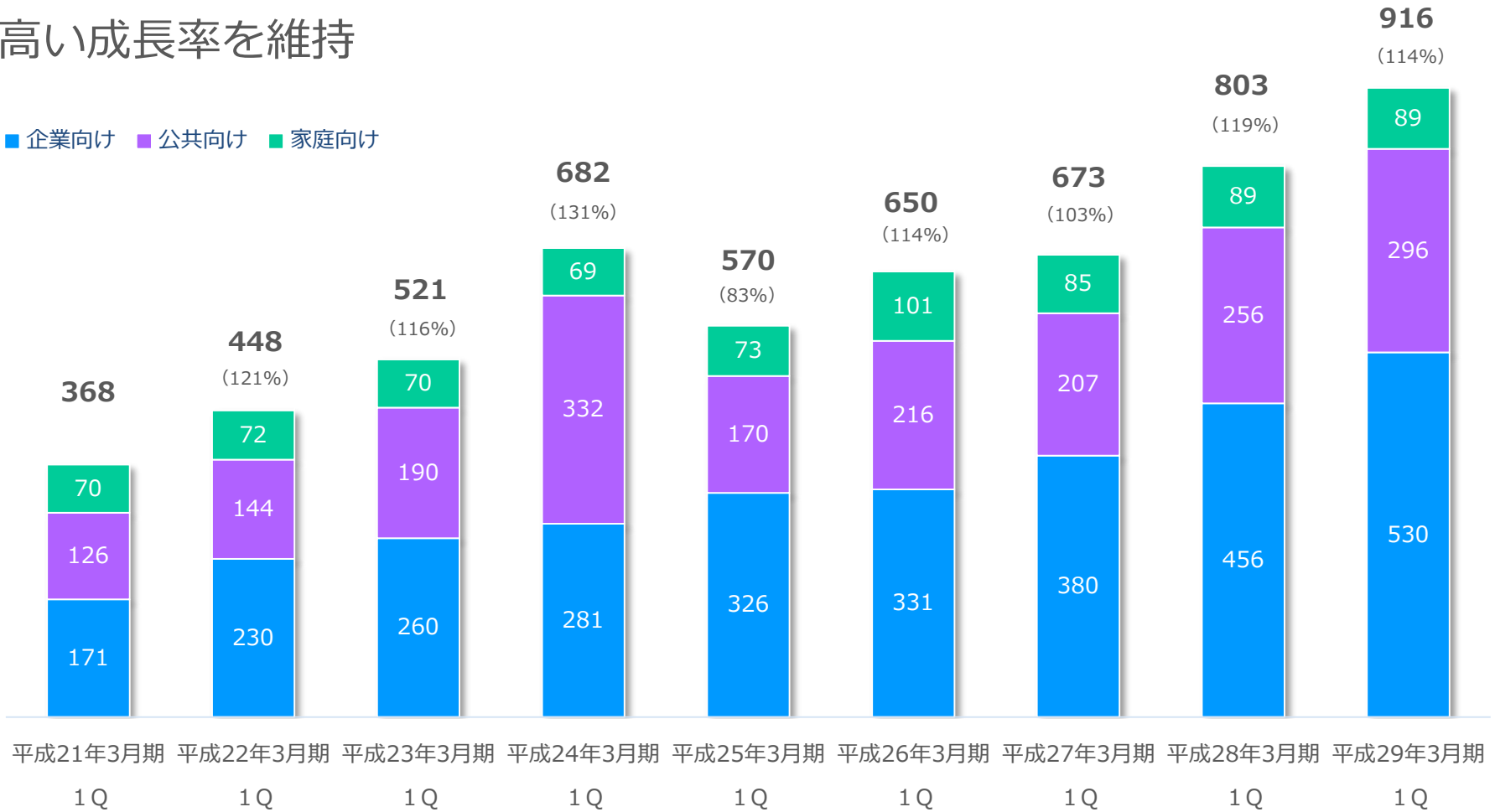
## 家庭向け市場

売上高： 89 百万円 (前期比 +0百万円 / +0.2%)

標的型攻撃対策および社内の機密情報漏洩対策への関心が  
企業向け市場、公共向け市場において高まり、  
高い成長率を維持

(単位：百万円)

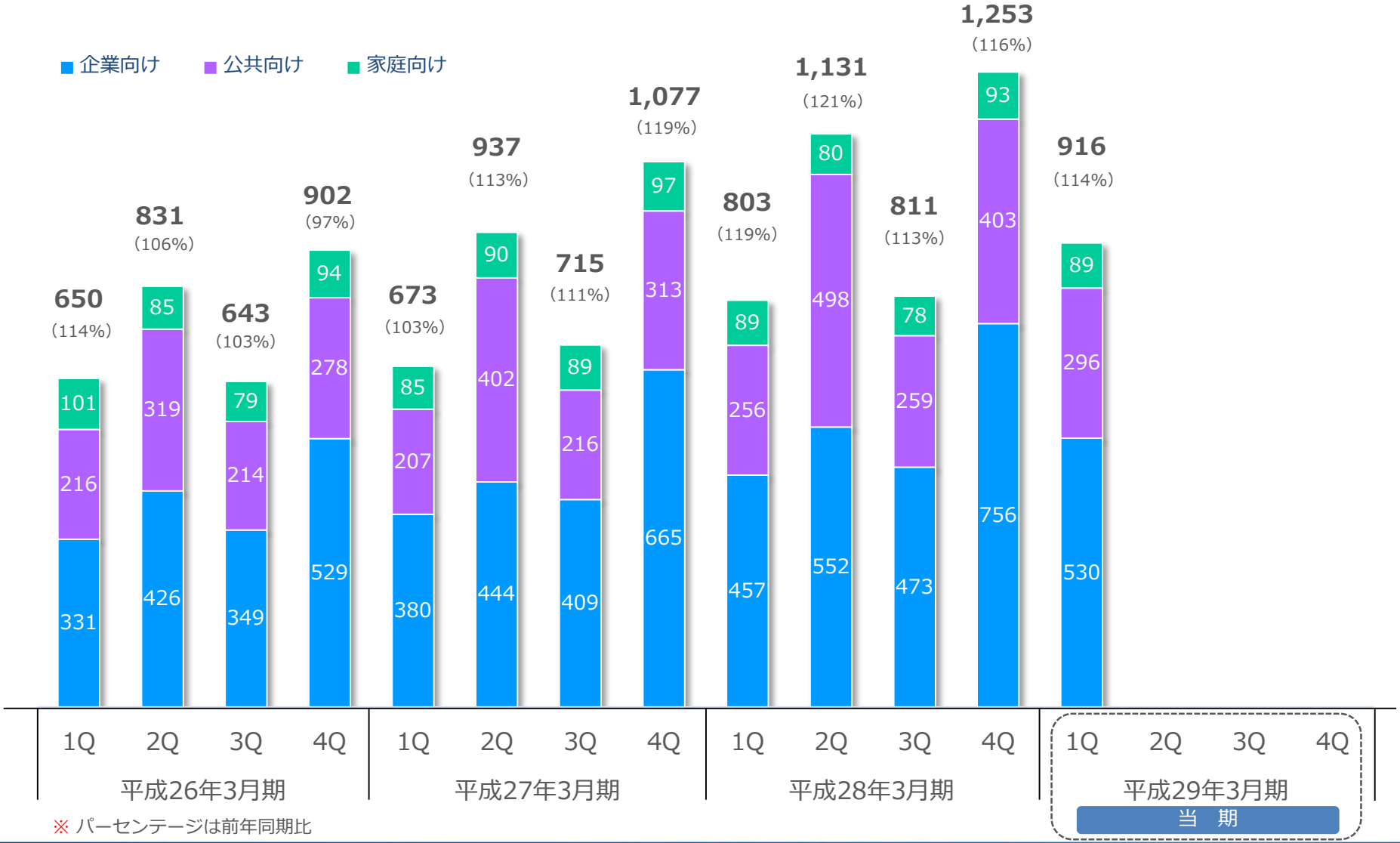
■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け



※ パーセンテージは前期比

## 企業向け、公共向け共に対前年同期比順調な成長基調で推移

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比



平成29年3月期 第1四半期決算補足説明資料

---

## 企業向け市場

- 主力製品である「i-FILTER」「FinalCode」の販売が順調に推移
- 「m-FILTER」については前年同期に特需があったことを主要因として、対前年同期マイナスとなるも、案件は潤沢にあり第2四半期以降着実に獲得し、さらなる成長を目指す
- 大規模な顧客情報の流失事故が多発する中、FinalCode Ver.5により実現する全社レベルでの高度なファイルセキュリティが、大量の顧客情報を扱う企業等のニーズを捉え、着実に売上が伸張

**i-FILTER** + 16.3 %

**m-FILTER** ▲ 5.6 %

**ID-SPA** + 29.5 %

**FINALCODE** + 346.9 %



平成29年3月期 第1四半期決算補足説明資料

---

## 公共向け市場

- 主力製品である「i-FILTER」「m-FILTER」「FinalCode」の販売が順調に推移
- セキュリティ強化を求める大規模団体を中心として「i-FILTER」の大規模新規案件の獲得が進む
- 公共団体が求める機能をシンプルに提供することを目的とした「FinalCode 自治体限定版」の導入が順調に推移
- 総務省が求める自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に関する指針により案件が飛躍的に増加。第2四半期以降提案を継続し、シェアの拡大を目指す

**i-FILTER** + 2.6 %

**m-FILTER** + 30.9 %

**ID-SPA** +232.8 %

**FINALCODE** 約 47 倍<sup>※</sup>



※ 受注額での比較（前年同期において会計上は全額繰延られております）

平成29年3月期 第1四半期決算補足説明資料

---

## 家庭向け市場

- パソコンの国内出荷台数減少は継続しているものの、OEMによる販売、複数年パッケージ製品の出荷が好調であったことなどを主要因としてパソコン版の売上が底固く推移
- 1つのシリアルIDで複数のOSでの利用が可能な「i-フィルター® for マルチデバイス」の販売が伸張

パソコン版

▲5.7%

ゲーム機/TV版

▲3.3%

モバイル端末版

+17.5%

## i-フィルター



平成29年3月期 第1四半期決算補足説明資料

---

平成29年3月期 通期業績予想

## 平成29年3月期 連結業績予想

- 国内を中心に平成28年3月期の市場環境が継続すると想定
- 海外については、案件は着実に積み上がるも計画上は保守的に見込む
- 海外投資関係も前年比微増に留まるため、利益成長が加速する見込み

項目	平成28年3月期実績	平成29年3月期計画	成長率/増減率
売上高	4,000 百万円	4,600 百万円	15.0 %
売上総利益	3,074 百万円	3,652 百万円	18.8 %
販売管理費	2,067 百万円	2,252 百万円	9.0 %
営業利益	1,006 百万円	1,400 百万円	39.1 %
経常利益	994 百万円	1,400 百万円	40.8 %
親会社株主に帰属する当期純利益	545 百万円	870 百万円	59.5 %
1株当たり配当金	15 円	20 円	—



## 平成29年3月期 個別業績予想

- 国内市場については平成28年3月期の好環境が継続すると想定

項目	平成28年3月期実績	平成29年3月期計画	成長率/増減率
売上高	4,018 百万円	4,598 百万円	14.4 %
売上総利益	3,123 百万円	3,555 百万円	13.8 %
販売管理費	1,788 百万円	1,843 百万円	3.0 %
営業利益	1,335 百万円	1,712 百万円	28.3 %
経常利益	1,328 百万円	1,712 百万円	28.9 %
当期純利益	840 百万円	1,182 百万円	40.7 %

## ■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

平成29年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の32.0%

平成29年3月期年間剰余金配当予想額は1株当たり20.00円

	1株当たり配当金			連結配当性向
	中間	期 末	合計	
平成28年3月期	7.00	8.00	15.00	38.2%
平成29年3月期（予想）	10.00	10.00	20.00	32.0%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- ・デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER/i-FILTER EndPoint Controller、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File ScanおよびD-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- ・FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。
- ・その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

*DigitalArts*®

-より便利な、より快適な、より安全な  
インターネットライフに貢献していく-